

平成29年度 授業時間割 2年前期

[illegible]

平成29年度 授業時間割 2年後期

[illegible]

平成29年度 授業 時間 割 学士2年前期

[illegible]

平成29年度 授業 時間 割 学士2年後期

月	日	月								日	火								日	水								日	木								日	金																					
		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8														
		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$														
9	25	人体構造系 尿管		内臓機能体系 細胞生理 自律・循環器						26	生体分子系								27	腫瘍系								28	感染系								29	分子遺伝系								医学ゼミ		感染症											
	2							3											4																		5													6			13			20			
	9	体育の日								10																		11																		12				13			20						
10	16	人体構造系 尿管		内臓機能体系 循環器						17	発生組織系 口腔・消化器								18	環境因子系								19	感染系								20	分子遺伝系								医学ゼミ		感染症											
	23							24											25																		26													27			28						
	30			内臓機能体系 消化器				31											1																		2													3	文化の日								
11	6			防災訓練						7	発生組織系・呼吸器								8	環境因子系								9	免疫系								10	感染症								新立記念講演会													
	13							14											15																		16											17											
	20	人体構造系 内臓		内臓機能体系 呼吸・腎・排泄 酸・塩基平衡				21											22									医と社会Ⅱ									23									勤労感謝の日								24	分子遺伝系				
12	4	医と社会								5	発生組織系・男性生殖 発生組織系・女性生殖 生化学実習								6	腫瘍系								7	感染系実習								8	感染系実習 細菌学								分子遺伝系		医学ゼミ		感染症									
	11			内臓機能体系 血液と体液				12											13																		14											15											
	18							19											20									環境因子系									21									免疫系								22					
1	25	冬季休業								26	冬季休業								27	冬季休業								28	冬季休業								29	冬季休業								冬季休業													
	1	元日								2	生化学実習								3	腫瘍系								4	免疫系								5	分子遺伝系								医学ゼミ		感染症											
	8	成人の日								9																		10																		11			12										
1	15	人体構造系 内臓		内臓機能体系 内分泌・代謝・体温						16									発生組織系 内分泌									17									環境因子系 実習									18	感染系 原虫								19	感染系 実習 ウイルス学			
	22							23			24			25			26																																										
	29							30			31	環境因子系															1									2																							
2	5	人体構造系		医と社会						6	発生組織系								7	試験期間								8	試験期間								9	試験期間																					
	12	振替休日								13	退職教役生記念講演会								14	退職教役生記念講演会								15																															
	19							20	試験期間								21	試験期間								22	試験期間										23																						
26	試験期間						27										28																		29			30																					
3	5	春季休業															6									春季休業									7	春季休業								8	春季休業									9	春季休業				
	12															13			14			15			16																																		
	19															20			21	春分の日														22									23																
26							27			28	春季休業								29									30																															

医 と 社 会 II

責任者	氏 名	安武 亨	内 線	7987
	教 室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	2年・通年	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

病める人と良好なコミュニケーションが行え、病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている環境を洞察しうる医師となる。病気を治療するだけでなく医療チームや家族と力を合わせ、患者の家庭や社会への復帰と社会の偏見を克服して患者の社会参加を真摯にめざす医師となる。

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、老健施設などの体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。また高齢者と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを学ぶ。前学年に引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深め、診療器具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。長崎純心大学、保健学科との共修を通して医療・福祉・介護の多方面からの視点を理解し尊重する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

A 医療と人間（保健学科と共修）

人の心の発達、性と生、高齢期を生きる、医療人と患者及び家庭との関係の4区分で講義を行う。

1. 人の心の発達

乳幼児と親の心、子供と社会 児童虐待の現状から、子供の心の発達、学童期、思春期

2. 性と生

人間の性 概論、ドメスティックバイオレンス

3. 高齢期を生きる

高齢期介護の実際、認知症高齢者を家族と地域で支える、地域における高齢者の生活を考える

B Early Exposure（医学科）

老健施設などの体験実習に参加し、体験に基づいたレポートを作成する。

C 診療の心得（診療マナー、バイタルサインの取り方、超音波や心電計等の基本操作）

D 事例検討（長崎純心大学、保健学科と共修）

3. 教科書、参考書等

必要に応じて各講義の最初の時間に紹介する。

4. 成績評価の方法・基準

実習状況、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習にはすべて出席すること。

授業回数の3分の1を超えて欠席した者は失格とする。

A：出欠状況及び授業を行った教員の評価結果を総合して決定する。講義・実習には全て出席すること。

B：体験に基づいたレポートを提出する。

レポート、発表会、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課す。

C：出欠状況、実習態度、レポートなどを総合して評価する。

D：出欠状況、実習態度、レポートなどを総合して評価する。

5. 教員名

委員：医育支援センター：安武亨、田中邦彦、江川亜希子、北山素、保健学科教務委員

A 1：川原ゆかり（長崎短期大学保育学科教授）、小柳憲司（長崎県立こども医療福祉センター診療部長）、福田雅文（みさかえの園むつみの家施設長）

A 2：安日泰子（やすひウィメンズヘルスクリニック院長）、中田慶子（DV防止ながさき）

A 3：陣野紀代美（長崎市医師会保健福祉センター）、菅崎弘之（すがさきクリニック院長）、石松隆和（地方創生推進本部コーディネーター）

B, C, D：地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、西野文子、松坂雄亮、野口郁恵

地域医療学：前田隆浩、田山淳（保健医療推進センター）、中尾理恵子（保健学科）

D：非常勤：潮谷有二（長崎純心大学教授）、宮野澄男（長崎純心大学准教授）、井口 茂（保健学科）

「ようこそ先輩」

脳神経内科：辻野 彰

第一内科：古賀 智裕

第二内科：山口 博之

熱研内科：有吉 紅也

6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

医と社会Ⅱ 授業予定(2年前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	木	3	ようこそ先輩	未定		ボードイン
4	13	木	3	ようこそ先輩	ようこそ先輩1	脳神経内科 辻野 彰	ボードイン
4	20	木	3	ようこそ先輩	未定		ボードイン
4	27	木	3	ようこそ先輩	未定		ボードイン

医と社会Ⅱ 授業予定(2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	27	水	4.5.6	性と生1	オリエンテーション 人間の性、概論	非常勤・安日泰子(保健学科と共修)	2講
				人の心の発達1	乳児と親の心	非常勤・福田雅文(保健学科と共修)	2講
9	28	木	4	ようこそ先輩	ようこそ先輩2	第一内科 古賀 智裕	ボードイン
10	4	水	4.5.6	人の心の発達2	子供と社会 児童虐待の現状から	非常勤・川原ゆかり(保健学科と共修)	2講
				高齢期を生きる1	高齢者介護の実際	非常勤・陣野紀代美(保健学科と共修)	2講
10	5	木	4	ようこそ先輩	ようこそ先輩3	第二内科 山口 博之	ボードイン
10	11	水	4.5.6	人の心の発達3	子供の心の発達、学童期、思春期	非常勤・小柳憲司(保健学科と共修)	2講
				性と生2	ドメスティックバイオレンス	非常勤・中田慶子(保健学科と共修)	2講
10	12	木	4	ようこそ先輩	ようこそ先輩4	熱研内科 有吉 紅也	ボードイン
10	18	水	4	地域包括	共修事前授業	地域包括ケア教育センター(保健学科と共修)	2講,記念講堂
			5				記念講堂
			6				記念講堂
10	25	水	3	地域医療	地域コミュニティにおける保健医療専門職の役割と活動	中尾 理恵子(保健学科)	1講
			4	地域包括	共修【医学科・保健学科・長崎純心大学】	地域包括ケア教育センター	坂本キャンパス
			5				坂本キャンパス
			6				坂本キャンパス
11	1	水	3	地域医療	認知行動療法の適用とその効果	田山 淳(保健医療・推進センター)	1講
			4	地域包括	共修【医学科・保健学科・長崎純心大学】	地域包括ケア教育センター	坂本キャンパス
			5				坂本キャンパス
			6				坂本キャンパス
11	8	水	4.5.6	高齢期を生きる2	認知症高齢者を家族と地域で支える	非常勤・菅崎弘之(保健学科と共修)	2講
				高齢期を生きる3	地域における高齢者の生活を考える	非常勤・石松隆和(保健学科と共修)	2講
11	15	水	4	地域包括	実習オリエンテーション	地域包括ケア教育センター	2講
			5				2講
			6				2講

医と社会Ⅱ 授業予定(2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容		担当講座等・教員	教室
					A	B		
11	22	水	1	Early Exposure	高齢者診療施設(老健施設)	診療の心得	地域包括ケア教育センター	1講
			2					1講
			3					1講
			4					1講
			5					1講
			6					1講
11	29	水	1	Early Exposure	診療の心得	高齢者診療施設(老健施設)	地域包括ケア教育センター	1講
			2					1講
			3					1講
			4					1講
			5					1講
			6					1講
12	6	水	1	地域包括	実習の振り返り		地域包括ケア教育センター	1講
			2					1講
			3					1講
1	17	水	1	地域包括	地域包括ケアにおける患者・家族の理解		地域包括ケア教育センター	1講
			2					1講
			3					1講
1	24	水	1	地域包括	地域包括ケアシステムのまとめ		地域包括ケア教育センター	1講
			2					1講
			3					1講

神 経 ・ 感 覚 器 系

責任者	氏 名	森 望	内 線	7017
	教 室	神経形態学（解剖学第一）	e-mail	morinosm@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日の16:00-18:00		

対象年次・学期	2年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Neuroanatomy of the human brain		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

神経解剖学の教育目標は、ヒトの脳神経系の形態的な成り立ちとその由来を学び、高度に発達したヒトの脳と神経系の構造を理解することにある。この学問はもともと肉眼解剖学の延長線上にあったが、前世紀初頭におけるニューロン説の確立と神経組織学の発展を経て、神経回路（ネットワーク）の学問として発展してきた。最近では分子神経生物学やシステム脳科学の発達とともに、現代神経科学の基礎学問として重要な位置を占める。ここでは臨床現場での各種脳神経疾患への対処に通ずる基礎学問として、脊髄、脳、感覚器系の構造と解剖学用語を学ぶ。また、実際のヒト脳の解剖実習を通して、人間の脳の複雑な構成について、立体的に理解することをめざす。

2. 授業内容（講義・実習項目）

系統的な講義（総論と各論）と実習で構成する。アトラスは必携とし、その図を理解することが重要。講義は教科書（アトラス）に準じつつプリントを併用。実習は4人で一グループとし、各グループで協力してご遺体の脳による系統的な脳解剖実習を行う。実習では現場での観察と記録を重視する。神経解剖学用語（日英）についても改めて理解を深める。

3. 教科書、参考書等 （★ は教科書、必携）

書 名	著 者	出版社	定 価
★解剖学アトラスⅢ神経系と感覚器（第6版）	W.Kahle（著）、平田（訳）	文光堂	5,600円
神経解剖カラーテキスト（第2版）	A.R. Crossman, C. Neary（著） 野村、水野（訳）	医学書院	5,600円
プロメテウス解剖学アトラス（頭部／神経解剖）	坂井、河田（監訳）	医学書院	11,000円
人体の正常構造と機能（神経系1、2）	河田、稲瀬他	日本医事新報社	各6,200円
神経科学- 脳の探究-	Mark F.Bear 他(著)、加藤他(訳)	西村書店	7,600円
カンデル神経科学	E. R. Kandel 他（著）金澤、宮下（監修）	MEDSi	14,000円
脳単	原島（著）	NTS	2,730円
★神経解剖実習書	神経形態学（解剖学第一）教室篇		（非売品）

4. 成績評価の方法・基準

レポート、小テスト等20%、実習レポート20%、期末試験60%程度とするが、講義・実習への参加態度も含めて総合評価する。

5. 教員名

解剖学第一：森 望、松本 弦、村井清人

6. 備考（準備学習等）

予習と復習を。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

神経・感覚器系授業予定（２年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	木	1	講義1	概論（１）神経解剖学史	森	第1
4	6	木	2	講義2	（２）神経発生、細胞（ニューロンとグリア）	森	第1
4	7	金	1	講義3	（３）脳の比較解剖学と進化（脳領域）	森	第1
4	7	金	2	講義4	（４）脳組織染色と脳のイメージング（脳領域と神経回路）	森	第1
4	13	木	1	講義5	脊髄（１）構造	森	第1
4	13	木	2	講義6	（２）上行路、下行路	森	第1
4	14	金	1	講義7	脳幹と脳神経（１）概論、脳神経、脳神経核	森	第1
4	14	金	2	講義8	（２）延髄	森	第1
4	20	木	1	講義9	（３）橋	森	第1
4	20	木	2	講義10	（４）中脳	森	第1
4	21	金	1	講義11	小脳（１）構造、小脳脚と小脳核	森	第1
4	21	金	2	講義12	（２）小脳皮質の神経回路、伝導路	森	第1
4	27	木	1	講義13	間脳（１）視床、特に背側視床	森	第1
4	27	木	2	講義14	（２）背側視床	森	第1
4	28	金	1	講義15	（３）視床上部と腹側視床	森	第1
4	28	金	2	講義16	（４）視床下部と下垂体	森	第1
5	11	木	1	講義17	終脳（１）概要	森	第1
5	11	木	2	講義18	（２）古皮質（嗅皮質と扁桃体）	森	第1
5	18	木	1	講義19	（３）旧皮質（海馬と大脳辺縁系）	森	第1
5	18	木	2	講義20	（４）線条体と大脳基底核	森	第1
5	25	木	1	講義21	（５）新皮質と脳領野	森	第1
5	25	木	2	講義22	（６）線維路と左右脳	森	第1
6	1	木	1	講義23	血管系	森	第1
6	1	木	2	講義24	髄液系	森	第1
6	8	木	1	講義25	末梢神経系（１）自律神経系（交感神経／副交感神経）	森	第1
6	8	木	2	講義26	（２）体性神経系（知覚神経／運動神経）	森	第1
6	15	木	1	講義27	機能系（１）機能的神経回路（上行系／下行系）	森	第1
6	15	木	2	講義28	（２）化学的神経回路（神経伝達物質／シナプスの微細構造）	森	第1
6	22	木	1	講義29	感覚器（１）視覚系	森	第1
6	22	木	2	講義30	（２）聴覚・平衡覚系	森	第1
6	29	木	1	講義31	（３）味覚系	森	第1
6	29	木	2	講義32	（４）嗅覚系	森	第1

神経・感覚器系授業予定（２年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
7	12	水	4	実習1	脳解剖実習（第1回）	森・松本・村井	解剖実習室
7	12	水	5	実習2	脳の概観、脳膜、脳底、血管系の観察		解剖実習室
7	12	水	6	実習3	大脳皮質外側面（回と溝）の観察		解剖実習室
7	13	木	4	実習4	脳解剖実習（第2回）	森・松本・村井	解剖実習室
7	13	木	5	実習5	小脳・脳幹の離断、小脳の解剖		解剖実習室
7	13	木	6	実習6	脳幹の解剖、脳神経の観察		解剖実習室
7	14	金	4	実習7	脳解剖実習（第3回）	森・松本・村井	解剖実習室
7	14	金	5	実習8	脳組織染色（小脳活樹、小脳皮質、小脳核）		解剖実習室
7	14	金	6	実習9	脳組織染色（延髄、橋、中脳）		解剖実習室
7	19	水	4	実習10	脳解剖実習（第4回）	森・松本・村井	解剖実習室
7	19	水	5	実習11	大脳半球正中断、内側面の観察、海馬、帯状束、脳弓の剖出		解剖実習室
7	19	水	6	実習12	島、連合線維、レンズ核、放線冠の剖出		解剖実習室
7	20	木	4	実習13	脳解剖実習（第5回）	森・松本・村井	解剖実習室
7	20	木	5	実習14	大脳半球／前頭断面の観察		解剖実習室
7	20	木	6	実習15	大脳半球／水平断面の観察		解剖実習室
7	21	金	4	実習16	脳解剖実習（第6回）	森・松本・村井	解剖実習室
7	21	金	5	実習17	脳組織染色（海馬、扁桃体、大脳辺縁系）		解剖実習室
7	21	金	6	実習18	脳組織染色（大脳基底核、大脳新皮質）		解剖実習室

人 体 構 造 系 II

責任者	氏 名	弦 本 敏 行	内 線	7021
	教 室	肉眼解剖学（解剖学第二）	e-mail	tsurumot@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	18:00-19:00		

対象年次・学期	2 年・前期	講義形態	講義、実習
必修・選択	必修	単位数	3.5
英語名	Human Body Structure 2		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：解剖学実習は御遺体にメスを入れるという特殊な実習でもあるので、知的修得ばかりでなく「心の学習」の場でもあることを自覚、認識して臨まなくてはならない。人体構造系は「肉眼解剖学」の知識を習得する学問である。講義並びに実習を通して人体の諸構造を理解するための解剖学的知識を修得するとともに、解剖学以外の基礎医学、臨床医学、社会医学などを学ぶための基礎学力をも身につける。その際学ぶ解剖学用語は、一つの概念を表現するために約束された記号であり、かつ将来、臨床医学を学ぶ上で必須の公用語でもある。また、解剖学実習は剖検した構造物を自分の目で観察し正確に記載してゆくという科学的学習態度の初歩を身につける機会として位置づけられる。

到達目標：人体の肉眼解剖学的な種々の諸構造について、適切な解剖学用語を用いて具体的に説明できる。

2. 授業内容

解剖学実習を決められた手技に則って行う。末梢神経学の講義を行う。

3. 教科書、参考書等（★は教科書、必携）

書 名	著 者	出版社	定価(税抜)
★グラント解剖学実習	新井良八 監訳	西村書店	4,800 円
★ネッター解剖学アトラス	相磯貞和 訳	南江堂	10,000 円
★グレイ解剖学 (for students)	塩田浩平 他訳	エルゼビア・ジャパン	10,000 円
分担解剖学 1 (総説・骨学・筋学)	小川鼎三、森 於菟他	金原出版	9,300 円
分担解剖学 2 (脈管学・神経系)	平沢 興 他	金原出版	10,600 円
分担解剖学 3 (感覚器学・内臓学)	小川鼎三 他	金原出版	8,600 円

4. 成績評価の方法・基準

解剖学実習については口答試験と筆答試験を、末梢神経学については筆答試験を行う。

(1) 受験資格 解剖学実習は原則として皆出席、末梢神経学は2/3以上出席。

(2) 試験と評価 ○実習中に口答ないし筆答試験を行う

○本試験（解剖学実習、末梢神経学）

○再試験（解剖学実習、末梢神経学）

再試験後、実習の口答試験結果、課題レポート等も併せて、総合的に評価する。

※ 本試験、再試験とも無届欠席は失格とする。

5. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

6. 教員名

肉眼解剖学分野：弦本敏行、岡本圭史、佐伯和信、高村敬子

非常勤講師：分部哲秋（長崎医療技術専門学校）

7. 備考（解剖学実習事前学習等について）

- (1) 解剖学実習をプログラム通りに進行させるためには解剖内容の正確な理解が必要であり、十分な予習を必要とする
 - 1) 配布するプリントの一般的解剖手技を十分学習し、各構造物の剖出の仕方を実践できるようにしておく
 - 2) 実習プログラムに沿って予習しておく
 - ①解剖の大きな流れは3～4回先まで把握する
 - ②頁ごとの手順を理解し、剖出すべき構造物について予習ノートを作成する
 - ③実習日での事前学習は困難であるので、休日等を利用してできるだけ先へ進めておく
- (2) 実習中は各班にiPadを貸与するが、教科書は必ず購入すること
- (3) 事前に配布される諸注意に沿って、実習に必要な物を注文・購入しておくこと
- (4) 10月26日に催される解剖体慰霊祭には、ご遺族が出席されます。節度ある身なり・服装・態度をもって必ず出席してください。

人体構造系Ⅱ授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	5	水	1	末梢神経4, 5	脊髄神経②	解剖2・弦本	第1講義室
			2				
			4	解剖学実習1	実習オリエンテーション (解剖学実習総論)	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村	第1講義室
			5				
			6				
4	6	木	4	解剖学実習2	解剖体安置、洗滌 背部の皮剥と皮下	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖実習室
			5				
			6				
4	7	金	4	解剖学実習3	背部の皮下	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖実習室
			5				
			6				
4	12	水	1	末梢神経6, 7	脳神経①	解剖2・弦本	第1講義室
			2				
			4	解剖学実習4	背部浅層	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村 非常勤講師・分部	解剖実習室
			5				
			6				
4	13	木	4	解剖学実習5	頸部の皮剥と皮下、浅層① 胸部・腹部の皮剥と皮下	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖実習室
			5				
			6				
4	14	金	4	解剖学実習6	頸部浅層② 浅胸筋	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖実習室
			5				
			6				
4	19	水	1	末梢神経8, 9	脳神経②、自律神経	解剖2・弦本	第1講義室
			2				
			4	解剖学実習7	頸部深層、胸鎖関節開放 腋窩	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村 非常勤講師・分部	解剖実習室
			5				
			6				
4	20	木	4	解剖学実習8	側腹筋 頸部深層②、腋窩②	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖実習室
			5				
			6				
4	21	金	4	解剖学実習9	腹直筋 上肢の離断	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖実習室
			5				
			6				
4	26	水	4	解剖学実習10	上肢の皮剥と皮下	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村 非常勤講師・分部	解剖実習室
			5				
			6				
4	27	木	4	解剖学実習11	肩部、上腕伸側	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖実習室
			5				
			6				
4	28	金	4	解剖学実習12	背部深層	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖実習室
			5				
			6				
5	10	水	4	解剖学実習13	胸腔・腹腔の開放 胸膜、腹膜、自然位の胸腹部内臓 上腕屈側	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村 非常勤講師・分部	解剖実習室
			5				
			6				
5	11	木	4	解剖学実習14	前腕伸側、手背①	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖実習室
			5				
			6				
5	17	水	4	解剖学実習15	胸膜、肺、縦隔・心臓① 前腕伸側、手背②	解剖2・弦本、岡本 佐伯、高村 非常勤講師・分部	解剖実習室
			5				
			6				

人体構造系Ⅱ授業予定（２年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	18	木	4	解剖学実習 1 6	縦隔・心臓② 前腕屈側と手掌①	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
5	24	水	4	解剖学実習 1 7	小腸・大腸① 前腕屈側と手掌②	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村 非常勤講師・分部	解剖 実習室
			5				
			6				
5	25	木	4	解剖学実習 1 8	小腸・大腸② 上腹部内臓①	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
5	31	水	4	解剖学実習 1 9	上腹部内臓、小腸・大腸の摘出 後腹膜臓器 後腹壁、横隔膜	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村 非常勤講師・分部	解剖 実習室
			5				
			6				
6	1	木	4	解剖学実習 2 0	骨盤部・殿部・会陰の皮剥と皮下 外生殖器と会陰 顔面の皮剥と皮下（浅層①）	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
6	7	水	4	解剖学実習 2 1	腰部離断・骨盤折半・骨盤内臓 頭部離断・環椎後頭関節開放 硬膜・内頭蓋底	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村 非常勤講師・分部	解剖 実習室
			5				
			6				
6	8	木	4	解剖学実習 2 2	顔面の皮剥と皮下（浅層②） 下肢の皮剥と皮下	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
6	14	水	4	解剖学実習 2 3	咽頭・喉頭 顔面浅層③ 大腿伸側・内側	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
6	15	木	4	解剖学実習 2 4	顔面深層① 骨盤の血管・神経 殿部、大腿屈側①	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
6	21	水	4	解剖学実習 2 5	顔面深層② 殿部、大腿屈側②	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
6	22	木	4	解剖学実習 2 6	鼻腔 下腿屈側、足底①	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
6	28	水	4	解剖学実習 2 7	口蓋、口腔 下腿屈側、足底②	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
6	29	木	4	解剖学実習 2 8	眼窩、外耳・中耳・内耳 下腿外側・伸側・足背	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
7	5	水	4	解剖学実習 2 9	上肢の関節	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
7	6	木	4	解剖学実習 3 0	下肢の関節	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				
7	7	金	4	解剖学実習 3 1	納棺、実習室清掃	解剖 2・弦本、岡本 佐伯、高村	解剖 実習室
			5				
			6				

動物性機能系

責任者	氏 名	篠原 一之	内 線	7033
	教 室	生理学第二（神経機能学）	e-mail	kazuyuki@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30～17時30分		

対象年次・学期	2年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Neurobiology and Behavior		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

動物性機能生理学では脳および神経の機能について学習する。最近急速に発展した脳・神経機能を学ぶためには、神経細胞レベルからヒトの認知・行動レベルまで、トータルに学ばねばならない。そこで、授業では、脳・神経科学を、1) 体の内外からの情報を受けて解釈する感覚系、2) 情報に基づいて判断を行う統合系、3) 行動を組織して実行する運動系、に分けて、それぞれ分子レベルから現象レベルまで統合的に理解し、脳・神経系学問領域における思考力を養う。

最近、脳・神経科学領域の進歩は目まぐるしい。膨大な情報の中から、将来医師となった時に知っておくべき、基礎的知識から最先端医療に応用可能な知識を授業で学ぶ。具体的には、神経細胞の情報伝達機構、神経再生、脳の統合機能（記憶、情動、本能）、感覚受容・知覚等のテーマについて、統合的システムとして理解できるようになり、脳・神経科学関連疾患の病態、病因、治療についての考察ができることも目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義：神経科学に含まれる事象について、細胞レベル、運動系の末梢から中枢まで、感覚系、統合的脳機能へと、そのメカニズムと全体における位置付けを重要視しながら、発展的に進めていく。項目によっては各専門家を呼び、高度な最新の内容をわかりやすく講義してもらう。

実習：人体を用いた神経、筋の興奮現象の測定を体験し、観察される現象の機構を説明できるようにする。感覚系および中枢を介した反応についていくつかの課題を実行し、背景となる神経機構についての基本的性質を考察し理解する。

講義用スライド・資料等は、「長崎大学LACS」にアップロードするので、各自以下のURLからダウンロードすること。原則として、講義の際に資料の配布はしない。

・ 長崎大学LACS <https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/>

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
人体生理学	篠原一之 他共著	朝倉書店	3,800 円
カラー図解 はじめての生理学 上 動物機能編	田中(貴邑) 富久子 著	講談社ブルーバックス	1,512 円
第3版カールソン神経科学テキスト	Neil. R. Carlson (泰羅雅登・中村克樹 訳)	丸善	18,900 円
Principles of Neural Science	Eric. R. Kandel	McGraw-Hill Companies	10,699 円

4. 成績評価の方法・基準

原則として筆答試験による。（実習も考慮する。）

5. 教員名

生理学第二：篠原一之、土居裕和、菊野雄一郎、樽見航

耳鼻咽喉科：高橋晴雄

眼科：北岡隆

麻酔科：石井浩二

非常勤講師：内匠透（理化学研究所）

友田明美（福井大学）

中村孝博（明治大学）

6. 備考（準備学習等）

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

動物性機能系授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員		教室
4	26	水	1	入門	神経科学の基礎と歴史	生理2	菊野	2講
			2	入門	神経系を構成する諸要素（形態・機能・分子）	生理2	樽見	2講
5	10	水	1	興奮	静止状態のニューロンと膜電位	生理2	土居	2講
			2	興奮	ニューロンの興奮とその伝導	生理2	土居	2講
5	12	金	1	シナプス	シナプス伝達	生理2	篠原	2講
			2	シナプス	神経伝達物質の放出と受容体	生理2	篠原	2講
5	17	水	1	運動系	骨格筋の構造・機能	生理2	樽見	2講
			2	運動系	運動系システムの階層性	生理2	土居	2講
5	19	金	1	神経細胞死	神経細胞の死	生理2	篠原	2講
			2	神経細胞死	神経細胞の再生	生理2	篠原	2講
			4	実習説明	資料配布・オリエンテーション	生理2	土居・菊野・樽見	実1、2
5	24	水	1	運動系	脊髄反射	生理2	菊野	2講
			2	感覚系	視覚	眼科	北岡	2講
5	26	金	1	運動系	小脳	生理2	土居	2講
			2	感覚系	聴覚	耳鼻科	高橋	2講
			4	生理学実習	誘発筋電図	生理2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
			5		脳機能計測	生理2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
			6		神経情報学	生理2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
5	31	水	1	感覚系	平衡感覚	生理2	菊野	2講
			2	運動系	大脳基底核	生理2	土居	2講
6	2	金	1	感覚系	痛覚	麻酔科	石井	1講
			4	生理学実習	誘発筋電図	生理2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
			5		脳機能計測	生理2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
			6		神経情報学	生理2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2

動物性機能系授業予定（2年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員		教室
6	7	水	1	統合脳	脳機能の分子的基盤	理研	内匠	2 講
			2	感覚系	体性感覚	生理 2	菊野	2 講
6	9	金	1	TBL	プレゼンテーション	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	2 講
			4	生理学実習	誘発筋電図	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
			5		脳機能計測	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
			6		神経情報学	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
6	14	水	1	感覚系	味覚	口腔生理	岡田	2 講
			2	統合脳	高次感覚機能	生理 2	菊野	2 講
6	16	金	1	感覚系	嗅覚	生理 2	篠原	2 講
			4	生理学実習	誘発筋電図	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
			5		脳機能計測	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
			6		神経情報学	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
6	21	水	1	統合脳	学習と記憶（脳内メカニズム）	生理 2	土居	2 講
			2	統合脳	本能行動（視床下部）	生理 2	樽見	2 講
6	23	金	1	統合脳	生体リズム	明治大学	中村	2 講
			4	生理学実習	誘発筋電図	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
			5		脳機能計測	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
			6		神経情報学	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	実1、2
6	28	水	1	統合脳	学習と記憶（シナプスの可塑性）	生理 2	樽見	2 講
			2	統合脳	睡眠と脳波	生理 2	土居	2 講
6	30	金	1	統合脳	意識と注意	生理 2	土居	2 講
7	7	金	1	統合脳	発達に伴う脳の可塑性	福井大学	友田	2 講
7	14	金	1	統合脳	情動（大脳辺縁系）	生理 2	菊野	2 講
7	21	金	1	統合脳	大脳連合野	生理 2	菊野	2 講
			2	運動・感覚	運動と感覚の連関	生理 2	土居	2 講
			3	TBL	プレゼンテーション	生理 2	篠原・土居・菊野・樽見	2 講

内 臓 機 能 ・ 体 液 系 II

責 任 者	氏 名	蒔田 直昌	内 線	7031
	教 室	分子生理学（生理学第一）	e-mail	nagasakimp@gmail.com
	オフィスアワー	講義曜日の17：00～（ただし試験前1週間を除く）		

対象年次・学期	2年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	0.5
英語名	Physiology of Visceral Function and Body Fluid		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

正常の生命現象を主として機能的な側面から探求することによって、「命がどうできているか」という医学の基礎知識を学ぶ。臨床の場においても、生体の生理現象や病的状態を個体・臓器・細胞・遺伝子という異なるレベルで観察・考察し、知識を臨床に応用させることの重要性を体験する。実習では循環、呼吸、血糖調節機能の実習を体験することにより基本的な知識の応用力と臨床生理学的知識の獲得をはかる。

2. 授業内容（実習項目）

- 1) 心電図・肺機能
- 2) 心音・血圧・心エコー
- 3) 循環反射・消化器
- 4) 血糖調節

3. 教科書・参考図書

書 名	著 者	出 版 社	定 価
標準生理学 第8版	福田 康一郎 他	医学書院	12,960円
ギャノン生理学 24版	岡田泰伸 他	丸善	10,800円
ガイトン生理学 原著第11版	御手洗 玄洋 他	エルゼビア	21,600円
ボロン プールペープ 生理学	泉井 亮 他	西村書店	10,260円
人体の正常構造と機能 第2版	坂井 建雄 他	日本医事新報	19,440円
図解心電図テキスト 第6版	Dale Dubin	文光堂	4,860円

4. 成績評価の方法・基準

実習は全て履修し、レポートを提出する（手書きのこと。PC入力、コピーは認めない）。出席、実習レポートで成績を評価する。

旧カリキュラム（内臓機能体液系II）の再履修者は、旧カリキュラムでの履修済の範囲に関係なく、新カリキュラムの内臓機能体液系Iの2回の試験を受ける（再試験はない）。

試験の受験資格、追試験に関しては医学部既定の通り。

5. 教員名

実習担当 蒔田直昌・辻 幸臣・石川泰輔・木本浩貴

6. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

内臓機能・体液系II 授業計画表

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	19	金	4	実習説明		生理1 石川	実1、2
5	26	金	4	生理学実習	グルコース負荷試験、心音・血圧測定、超音波検査法(心臓・腹部内臓)、心電図、肺機能検査	生理1 蒔田・辻・石川	実1、2
			5	生理学実習			実1、2
			6	生理学実習			実1、2
6	2	金	4	生理学実習	グルコース負荷試験、心音・血圧測定、超音波検査法(心臓・腹部内臓)、心電図、肺機能検査	生理1 蒔田・辻・石川	実1、2
			5	生理学実習			実1、2
			6	生理学実習			実1、2
6	9	金	4	生理学実習	グルコース負荷試験、心音・血圧測定、超音波検査法(心臓・腹部内臓)、心電図、肺機能検査	生理1 蒔田・辻・石川	実1、2
			5	生理学実習			実1、2
			6	生理学実習			実1、2
6	16	金	4	生理学実習	グルコース負荷試験、心音・血圧測定、超音波検査法(心臓・腹部内臓)、心電図、肺機能検査	生理1 蒔田・辻・石川	実1、2
			5	生理学実習			実1、2
			6	生理学実習			実1、2
6	23	金	4	生理学実習	グルコース負荷試験、心音・血圧測定、超音波検査法(心臓・腹部内臓)、心電図、肺機能検査	生理1 蒔田・辻・石川	実1、2
			5	生理学実習			実1、2
			6	生理学実習			実1、2

分子遺伝系

責任者	氏 名	吉浦 孝一郎	内 線	7118
	教 室	原研遺伝（人類遺伝学）	e-mail	kyoshi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日～木曜日：16時～17時		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Molecular Genetics		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

病気の成り立ちを理解するために重要な分子遺伝学の基礎知識を講義する。遺伝学は多様性(variation)と遺伝(inheritance)を解析する学問である。ヒトの遺伝・多様性について基本的な暗記事項から幅広い応用力を養成し、思考力を養うことを目的とする。本講で身につけた基本的な応用力・思考力により、疾患の成り立ちを考察できるようになる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

分子遺伝学の基本事項である遺伝現象、多様性の理解から始め、それらを表出する分子機構を系統講義する。DNA・染色体・ゲノムの構造と機能、疾患発症に関わる分子病理を講義する。それらの基礎知識の応用として、臨床遺伝学、遺伝子治療、医学に関する生命倫理までを講義する。単一遺伝子病から多因子病までをDNAを通して統一的に理解し、将来の臨床の場に役に立てられるような幅広い知識と応用力を習得して欲しい。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
遺伝医学への招待, 第5版	新川詔夫・太田 亨	南江堂	1,944 円
遺伝医学やさしい系統講義	福嶋義光 監修	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4,860 円
トンプソン・トンプソン遺伝医学, 第7版	福嶋義光 監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	10,500 円
ゲノム医学	菅野純夫・福嶋義光 (監訳)	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9,288 円

4. 成績評価の方法・基準

- 期末試験：授業内容にそった筆答試験（100点満点）
筆答試験60点以上を合格とする。

5. 教員名

長崎大学

人類遺伝学 吉浦孝一郎（教授）、木下晃（講師）；分子医学 永山雄二（教授）；放射線
災害医療学 光武範史（准教授）；精神神経科学 黒滝直弘（准教授）；薬物治療学 塚元和
弘（教授）；産婦人科学 三浦清徳（准教授）；先端生命科学研究支援センター 木住野達
也（准教授）；熱帯医学研究所 平山謙二（教授）

非常勤講師 松本直通 横浜市立大学大学院環境分子医科学（教授）
" 原田直樹 京都大学iPS細胞研究所 基盤技術研究部門（准教授）
" 近藤達郎 みさかえの園むつみの家（医師）

6. 備考（準備学習等）

上記教科書による復習を勧める。期末試験の再試験は行なわないので注意すること。体調不良、事故等の突発的な事情による試験欠席については、追試験を考慮する。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

分子遺伝系授業予定（１年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	29	金	1	遺伝医学総論I	ヒトの形式遺伝と特性I	原遺・吉浦	1 講
			2	遺伝医学総論II	ヒトの形式遺伝と特性II	原遺・吉浦	1 講
10	6	金	1	細胞遺伝学I	染色体の構造と解析法	非常勤・原田	1 講
			2	細胞遺伝学II	臨床細胞遺伝学・染色体異常症	非常勤・原田	1 講
10	13	金	1	遺伝医学総論III	ヒトの形式遺伝と特性III	原遺・吉浦	1 講
			2	遺伝子の構造I	核酸の生化学	原遺・吉浦	1 講
10	20	金	1	遺伝子の構造II	DNA複製と修復機構	原遺・木下	1 講
			2	遺伝子の構造III	ヒトゲノムの構成，遺伝子の構造と機能I	原遺・木下	1 講
10	27	金	1	転写と翻訳I	転写・翻訳の機構	原遺・木下	1 講
			2	転写と翻訳II	ヒト遺伝子の発現と発現制御	原遺・木下	1 講
11	17	金	1	分子病理I	疾患発症機構I	原遺・吉浦	1 講
			2	分子病理II	疾患発症機構II	原遺・吉浦	1 講
11	24	金	1	分子病理III	疾患発症機構III	原遺・吉浦	1 講
			2	分子病理IV	疾患発症機構IV	原遺・吉浦	1 講
12	1	金	1	ゲノム医学研究I	最先端ゲノム医学研究I	非常勤・松本	1 講
			2	ゲノム医学研究II	最先端ゲノム医学研究II	非常勤・松本	1 講
12	8	金	1	分子病理VI	疾患発症機構V	精神科・黒滝	1 講
			2	免疫遺伝学	免疫関連遺伝子と遺伝学	非常勤・平山	1 講
12	15	金	1	分子病理V	エピジェネティックス機構	先導生科セ・木住野	1 講
			2	分子病理VI	エピジェネティックスと疾患	先導生科セ・木住野	1 講
12	22	金	1	腫瘍遺伝学I	腫瘍遺伝学I	原研細胞・光武	1 講
			2	腫瘍遺伝学II	腫瘍遺伝学II	原研細胞・光武	1 講
1	5	金	1	臨床遺伝学I	遺伝性疾患の臨床I	非常勤・近藤	1 講
			2	臨床遺伝学II	遺伝性疾患の臨床II	非常勤・近藤	1 講
1	12	金	1	多因子遺伝基礎	集団遺伝学、遺伝子多型、遺伝的浮動	原遺・吉浦	1 講
			2	多因子遺伝基礎	多因子疾患と関連解析の基礎	原遺・吉浦	1 講
1	19	金	1	テーラーメイド医療	薬理遺伝学I	薬物治療学・塚元	1 講
			2	テーラーメイド医療	薬理遺伝学II	薬物治療学・塚元	1 講
1	26	金	1	分子病理VI	ミトコンドリアDNAと遺伝病	原遺・木下	1 講
			2	出生前診断	遺伝性疾患と出生前診断	産婦人科・三浦	1 講
2	2	金	1	遺伝子治療	遺伝子治療の原理と応用	原研分子・永山	1 講
			2	遺伝カウンセリング	遺伝カウンセリングI	非常勤・近藤	1 講

環 境 因 子 系

責任者	氏 名	工藤 崇	内 線	7101
	教 室	原研放射（アイソトープ診断治療学）	e-mail	tkudo123@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Environmental Science		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

生活環境には電離放射線が存在し、医療や研究に利用されている。これらの放射線の性質・作用および医療における利用法を学び、放射線に関する基礎知識を身につける。さらには、放射線の健康影響を自分で調査・評価できる技術を習得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

放射線の性質・作用・健康リスクを分子レベルから組織レベル、個体レベルにいたる多方面から幅広く解説する。また、福島原発事故の話題も交えながら放射線防護、疫学、およびリスクコミュニケーションについて解説する。

実習では、放射線の測定および被ばくによる健康リスク評価を体験し、技術を習得する。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
放射線基礎医学	青山 喬 編纂	金芳堂	5,900 円

この他に、各自で授業に関連した興味深い本を探してください。

4. 成績評価の方法・基準

期末試験＋Webテスト : 60%
 講義・実習への取り組み : 40%
 必要に応じてレポートの提出を課す。

5. 教員名

原研放射 : 工藤 崇、西 弘大
 原研医療 : 鈴木啓司
 原研国際 : 折田真紀子
 原研アイソ : 松田尚樹、山内基弘
 外部講師 : 栗井和夫（広島大学）、長谷川有史（福島県立医科大学）

6. 備考（準備学習等）

LACSに講義資料を掲示するので予習しておくこと。
 講義中に行う小テストの提出をもって出席とする。
 実習に欠席しなければならない場合は、あらかじめ届けるか、連絡すること。

7. アクティブラーニング

WebテストをLACSで行う。
 質問はLACS上でも随時受け付ける。追加資料などもLACSで配布する。

環境因子系授業予定(2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
11	8	水	1	放射線物理学	放射能・放射線の基礎物理学	西	2 講
			2				
			3	放射線生物学 (1)	DNA損傷修復と放射線分子細胞応答	鈴木	2 講
11	15	水	1	放射線生物学 (3)	放射線による細胞死誘導と組織反応	鈴木	2 講
			2	放射線生物学 (4)	個体レベルの放射線影響とがんの放射線治療	山内	2 講
			3				
12	13	水	4	外部講師 講演	医療被ばく	栗井 (広島大)	2 講
			5		原子力災害医療	長谷川 (福島県立医大)	
			6				
12	20	水	1	放射線生物学 (5)	集団レベルの放射線影響	山内	2 講
			2	放射線防護学	放射線防護のための規制科学と福島原発事故	松田	
			3				
			4	実習 (A グループ) 講義 (B グループ)	放射線被ばくによる健康リスク解析実習	原研放射アイソトープ実験施設	RI実験施設・CBT室
			5		医療における放射線利用と放射線防護の基礎	工藤	
			6				
1	10	水	4	実習 (B グループ) 講義 (C グループ)	放射線被ばくによる健康リスク解析実習	原研放射アイソトープ実験施設	RI実験施設・CBT室
			5		医療における放射線利用と放射線防護の基礎	工藤	
			6				
1	17	水	4	実習 (C グループ) 講義 (D グループ)	放射線被ばくによる健康リスク解析実習	原研放射アイソトープ実験施設	RI実験施設・CBT室
			5		医療における放射線利用と放射線防護の基礎	工藤	
			6				
1	24	水	4	実習 (D グループ) 講義 (A グループ)	放射線被ばくによる健康リスク解析実習	原研放射アイソトープ実験施設	RI実験施設・CBT室
			5		医療における放射線利用と放射線防護の基礎	工藤	
			6				
1	31	水	4	放射線リスク学	放射線健康リスクとリスクコミュニケーション	折田	2 講
			5	放射線計測学	放射線計測の基礎	西	2 講
			6				

感 染 系

責任者	氏 名	西田 教行	内 線	7059
	教 室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分から 6 時30分		

対象年次・学期	2 年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medical Microbiology and Parasitology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

感染系ではヒトに感染し、病気を起こす微生物（ウイルス・細菌・真菌・原虫・ぜん虫）の生物学的特性と生活環について学び理解する。さらに病気を起こすメカニズムを学び、この授業の終了後には、主要な病原体のもつ生物学的特徴と、感染の結果どのようなメカニズムで発症するのか説明できる。また病原体の地理的分布や、発生頻度、流行状況についての基本的な疫学事項を述べるができる。さらに、これらの治療やワクチンその他による予防法についても説明できる。講義と実習を通しての知識の習得にとどまらず、グループ研究を通して自ら疑問をもち、問題を発見し問題解決力を養うことを目指している。

2. 授業内容（講義・実習項目）

授業はウイルス学・細菌学（真菌を含む）・寄生虫学（原虫を含む）に大別して行い、学内外の専門家による分担講義とする。各論的内容はグループ学習と発表を中心に行い、講義で内容を補いかつ最先端の研究に触れる。実習の目的は、実際の病原体に触れることにより、現実の「もの」をみる感覚を養い、危険な病原体の取り扱い方法について学び、さらに鑑別診断のロジックを体得することにある。時間は限られているので各論で取り上げていない病原体については自己学習とする。

3. 教科書、参考書

書 名	著 者	出 版 社	定 価
微生物学 基礎から臨床へのアプローチ (2012)	神谷茂、河野茂 監訳	メディカルサイエンスインターナショナル	8,300円
ブラック微生物学 2版(2007)	林英生ら監訳	丸善	7,900 円
標準微生物学 10版 (2009)	平松啓一・中込治	医学書院	7,350 円
戸田新細菌学 33版 (2007)	吉田真一・柳雄介	南山堂	15,000 円
図説人体寄生虫学 7版(2006)	吉田幸雄・有菌直樹	南山堂	9,450 円

4. 成績評価の方法・基準

学習態度および到達目標への達成度を課題レポート（3割）、実習レポート（2割）、発表（1割）、定期考査5割（分担出題）により総合評価し、60点以上の得点をもって合格とする。科目責任者の責任で（分担出題によらず）、再試験・再再試を行うことがある。

5. 教員名

感染免疫学講座：西田教行（教授）中込 治（教授）中山浩次（教授）石橋大輔（准教授）久保嘉直（准教授）渡辺 健（助教）中垣岳大（助教）田口 謙（助教）熱帯医学研究所：平山謙二（教授）森田公一（教授）金子 修（教授）濱野真二郎（教授）山本太郎（教授）安田二郎（教授）皆川 昇（教授）上村春樹（講師）矢幡一英（助教）早坂大輔（助教）大学病院検査部：柳原克紀（教授）賀来敬仁（助教）小佐井康介（助教）臨床感染症学：泉川公一（教授）保健学科：佐藤克也（教授）非常勤講師；国立感染症研究所 宮崎義継（部長）琉球大学 山城 哲（教授）

6. 備考

教員の都合により、講義の入れ替えを行うことがある。実習への出席は白衣着用を条件とする。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

感染系授業予定（２年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	28	木	1	ガイダンス	微生物学入門	西田 教行（感染分子）	1 講
			2	ウイルス学	ウイルス学入門	西田 教行（感染分子）	1 講
9	29	金	5	細菌学	細菌学入門	西田 教行（感染分子）	1 講
			6	ウイルス学	ウイルスの複製機構	石橋 大輔（感染分子）	1 講
10	5	木	1	ウイルス学	ウイルス感染と宿主免疫応答	石橋 大輔（感染分子）	1 講
			2	細菌学	細菌の構造	中山 浩次（歯学部）	1 講
10	6	金	5	細菌学	細菌の代謝	中山 浩次（歯学部）	1 講
			6	総合演習	Casa Study 1	西田 教行（感染分子）	1 講
10	12	木	1	総合演習	Casa Study 1	西田 教行（感染分子）	1 講
			2	細菌学	細菌の遺伝学	中山 浩次（歯学部）	1 講
10	13	金	5	細菌学	細菌性毒素	小佐井 康介（検査部）	1 講
			6	細菌学	化学療法と薬剤耐性菌	柳原 克紀（検査部）	1 講
10	19	木	1	ウイルス学	インフルエンザ	渡辺 健（リーディング）	1 講
			2	ウイルス学	神経系に感染するウイルス 1（ポリオ、ヘルペス）	田口 謙（感染分子）	1 講
10	20	金	5	細菌学	滅菌と消毒	柳原 克紀（検査部）	1 講
			6	細菌学	嫌気性菌	柳原 克紀（検査部）	1 講
10	26	木	1	真菌学	真菌（1）	宮崎 義継（感染研）	1 講
			2	真菌学	真菌（2）	宮崎 義継（感染研）	1 講
			3	ウイルス学	腫瘍ウイルス 1（EBVなど）	石橋 大輔（感染分子）	1 講
10	27	金	5	ウイルス学	腫瘍ウイルス 2（HPVなど）	中垣 岳大（感染分子）	1 講
			6	総合演習	Casa Study 2	西田 教行（感染分子）	1 講
11	2	木	1	総合演習	Casa Study 2	西田 教行（感染分子）	1 講
			2	総合演習	Casa Study 3	西田 教行（感染分子）	1 講
11	9	木	1	総合演習	Casa Study 3	西田 教行（感染分子）	1 講
			2	総合演習	Casa Study 4	西田 教行（感染分子）	1 講
11	10	金	1	総合演習	Casa Study 4	西田 教行（感染分子）	1 講
			2	細菌学	抗酸菌	泉川 公一（臨床感染症学）	1 講
11	16	木	1	ウイルス学	神経系に感染するウイルス 2（JC、狂犬病）	田口 謙（感染分子）	1 講
			2	総合演習	Casa Study 5	西田 教行（感染分子）	1 講
11	17	金	5	総合演習	Casa Study 5	西田 教行（感染分子）	1 講
			6	総合演習	Casa Study 6	西田 教行（感染分子）	1 講
11	24	金	5	総合演習	Casa Study 6	西田 教行（感染分子）	1 講
			6	総合演習	Casa Study 7	西田 教行（感染分子）	1 講
12	1	金	5	細菌学	クラミジア	賀来 敬仁（検査部）	2 講
			6	細菌学	マイコプラズマ	賀来 敬仁（検査部）	2 講
12	6	水	4	総合演習	Casa Study 7	西田 教行（感染分子）	2 講
			5	ウイルス学	HIV	久保 嘉直（リーディング）	2 講

感染系授業予定（２年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
			6	ウイルス学	HTLV-1	久保 嘉直（リーディング）	2 講
12	7	木	5	細菌学実習	グラム染色と薬剤感受性試験	石橋 大輔（感染分子）	実1、2
			6	細菌学実習	グラム染色と薬剤感受性試験	石橋 大輔（感染分子）	実1、2
12	8	金	5	細菌学実習	グラム染色と薬剤感受性試験	石橋 大輔（感染分子）	実1、2
			6	細菌学実習	グラム染色と薬剤感受性試験	石橋 大輔（感染分子）	実1、2
12	14	木	1	ウイルス学	肝炎ウイルス	佐藤克也（保健学リハ）	1 講
			2	ウイルス学	麻疹・風疹	中垣岳大（感染分子）	1 講
			4	細菌学	腸内細菌	山城 哲（琉球大学）	1 講
			5	細菌学	下痢を起こす細菌感染	山城 哲（琉球大学）	1 講
			6	総合演習	Casa Study 8	西田 教行（感染分子）	1 講
12	15	金	5	総合演習	Casa Study 8	西田 教行（感染分子）	1 講
			6	総合演習	Casa Study 9	西田 教行（感染分子）	1 講
12	21	木	4	総合演習	Casa Study 9	西田 教行（感染分子）	1 講
			5	特別講義	ロタウイルスの研究	中込 治（分子疫学）	1 講
			6	総合演習	Casa Study 10	西田 教行（感染分子）	1 講
1	4	木	5	総合演習	Casa Study 10	西田 教行（感染分子）	1 講
			6	特別講義	未定	北 潔（TMGH）	1 講
1	11	木	5	原虫学	原虫学総論	金子 修（熱研）	1 講
			6	原虫学	トリパノソーマ	上村 春樹（熱研）	1 講
1	12	金	5	原虫学	マラリア	矢幡 一英（熱研）	1 講
			6	原虫学	腸管寄生原虫	金子 修（熱研）	1 講
1	18	木	4	ウイルス学	蚊媒介性ウイルス感染症	森田 公一（熱研）	1 講
			5	原虫学	原虫学実習	金子 修（熱研）	実2
			6	原虫学	原虫学実習（予備）	金子 修（熱研）	実2
1	19	金	5	寄生虫学	寄生虫学総論	濱野 真二郎（熱研）	1 講
			6	寄生虫学	線虫学	濱野 真二郎（熱研）	1 講
1	25	木	4	寄生虫学	吸虫学	濱野 真二郎（熱研）	1 講
			5	寄生虫学	条虫学	濱野 真二郎（熱研）	1 講
			6	特別講義	Neglected Tropical diseases と NEKKEN	平山 謙二（熱研）	1 講
1	26	金	5	寄生虫学	寄生虫学実習 虫卵など	濱野 真二郎（熱研）	実2
			6	寄生虫学	寄生虫学実習	濱野 真二郎（熱研）	実2
2	1	木	4	特別講義	感染症学の基礎	山本 太郎（熱研）	1 講
			5	特別講義	国際保健	山本 太郎（熱研）	1 講
			6	ウイルス学	出血熱ウイルス（エボラなど）	安田 二郎（熱研）	1 講
2	2	金	4	ウイルス学	マダニ媒介性ウイルス感染症	早坂 大輔（熱研）	1 講
			5	特別講義	病害昆虫学	皆川 昇（熱研）	1 講
			6	総合	薬害肝炎など	西田 教行（感染分子）	1 講

免 疫 系

責任者	氏 名	由 井 克 之	内 線	7070
	教 室	免疫学（免疫学）	e-mail	katsu@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	12:30～13:00		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1. 5
英語名	Immunology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい： 免疫系は、ウイルス・細菌・寄生虫など外界の生物や異物の侵入に対して、個体の恒常性維持のために発達した生体系であり、この系を構成する様々な細胞・分子群は、複雑な相互作用を営みながら秩序正しく行動している。この免疫系の成り立ちの基本原理とその破綻の結果生ずる病態の基礎を理解し知識を身につけることが第一目標である。免疫学は実験医学であり個々の原理は実験によって裏付けられている。これらの実験の基本を理解し、医科学の科学的検証法を学ぶことが第二の目標である。

さらに、学生諸君が自ら「なぜ？」との疑問を発し、医科学における真理の探究とその応用に思いを馳せることを期待する。講義および実習においては、単に事実の羅列や記憶ではなく、その基礎にある科学的思想と実験的検証に対する理解を深め、問題解決能力の養成を重視する。

到達目標：ヒト免疫系の基本的な仕組みと、免疫系に関連して生ずる様々な病態について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

免疫細胞の認識・分化・活性化・エフェクター機能・制御機構を中心に免疫系の基本原理について講義・実習を行う。さらに、外的内的恒常性の変化に対して免疫系がどのように機能するか、またその制御機構の破綻とその病態について講義する。

2. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
Janeway's Immunobiology, 9th ed. 免疫生物学 原著第7版	Kenneth Murphy 笹月健彦（翻訳）	Garland Science 南江堂	9,088円 8,964円
Cellular and Molecular Immunology, 9th ed. 分子細胞免疫学 原著第7版	A. K. Abbas他 松島綱治他（翻訳）	Saunders エルゼビアジャパン	8,976円 10,584円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験（中間試験10%、本試験90%）。但し、出席・実習レポートも考慮する。

5. 教員名

免疫学：由井克之、都田真奈、木村大輔、
リウマチ・膠原病内科学（内科学第一）：川上 純
小児科学：森内浩幸
病院皮膚科：原 肇秀
病院第二外科：日高 匡章
非常勤講師：鶴殿平一郎（岡山大学）、吉開泰信（九州大学）

6. 備考（準備学習等）

教科書等の該当する部分を読むこと。

7. アクティブラーニング

双方向性の授業を心がけ、アクティブラーニングを加味する。

免疫系授業予定（2年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	28	木	5	免疫学入門	免疫系の特徴	免疫・由井	1 講
			6	免疫学入門	免疫細胞と組織	免疫・由井	
10	5	木	5	自然免疫	パターン認識受容体	免疫・由井	1 講
			6	自然免疫	自然免疫応答、サイトカイン	免疫・由井	
10	12	木	5	自然免疫	補体	免疫・由井	1 講
			6	抗原認識	抗体の構造と機能	免疫・由井	
10	19	木	5	抗原認識	T細胞の抗原認識	免疫・由井	1 講
			6	抗原認識	抗原受容体遺伝子	免疫・由井	
11	2	木	5	免疫応答	MHC	免疫・由井	1 講
			6	免疫応答	T細胞活性化とシグナル伝達	免疫・由井	
11	9	木	4	免疫学実習	抗原抗体反応	免疫・木村他	実2
			5				
			6				
11	16	木	4	免疫学実習	リンパ球の同定と分離	免疫・都田他	実2
			5				
			6				
11	30	木	1	免疫応答	T細胞の分化と選択	免疫・由井	2 講
			2	免疫応答	細胞性免疫応答（1）	免疫・由井	
			4	免疫学実習	抗体産生細胞の同定・フローサイトメトリー	免疫・都田他	実1
			5				
			6				
12	7	木	1	免疫応答	細胞性免疫応答（2）	免疫・都田	1 講
			2	免疫応答	液性免疫応答（1）	免疫・由井	
12	21	木	1	免疫応答	液性免疫応答（2）	免疫・由井	1 講
			2		中間テスト	免疫・由井	
			3		中間テスト解説	免疫・由井	
1	4	木	1	免疫応答	免疫系の細胞動態	免疫・由井	1 講
			2	免疫応答	免疫寛容と制御	免疫・由井	
			3	免疫応答	スーパー抗原	免疫・由井	
1	11	木	1	免疫と病気	粘膜免疫他	免疫・由井	1 講
			2	免疫応答	自然免疫リンパ球	免疫・木村	
			3	免疫と病気	免疫不全	小児・森内	
1	18	木	1	免疫と病気	アレルギー	皮膚・原	1 講
			2	免疫と病気	腫瘍免疫の最前線	非常勤・ 鵜殿	
			3	免疫と病気	腫瘍免疫の最前線	非常勤・ 鵜殿	
1	25	木	1	免疫と病気	移植免疫	外科学二・日高	1 講
			2	免疫と病気	感染免疫と生体防御	非常勤・吉開	
			3	免疫と病気	感染免疫と生体防御	非常勤・吉開	
2	1	木	1	免疫と病気	自己免疫疾患	内科学一・川上	1 講
			2	免疫と病気	自己免疫疾患	内科学一・川上	
			3		まとめ	免疫・由井	

腫瘍系

責任者	氏名	池田 裕明	内線	7079
	教室	腫瘍医学	e-mail	hikeda@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	9:00-18:00		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	0.5
英語名	The Biology of Cancer		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

本講座は昭和61年、我が国最初の腫瘍医学講座として発足した。

医学教育では腫瘍に関する基礎科学から臨床腫瘍学までを集中的かつ系統的に担当する。とりわけ、近年急速に発展した癌の発生、進展の機構の分子生物学的知見、診断と治療の技術革新の展開に関する内容を大幅に取り入れ、今日的な腫瘍に対する見方を探り、新たな発展の礎となる教育を目指している。具体的には発がんからがんの進展、浸潤、転移に関するがんの分子生物学、がんと生体の相互作用、がんの個別性、分子標的薬、免疫機能を利用した治療法や遺伝子治療等の新しい治療法、基礎研究を基に臨床応用を行うトランスレーショナル研究、臨床腫瘍学の入門と、幅広い学習を目指す。また、本課目の学習を通じて、科学的・論理的な思考法、仮説と検証に基づく考え方、柔軟で独創的な考え方のトレーニングを目指す。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
がんの生物学 Essential 細胞生物学 PUB Med に無料で公開されている以下の4つの参考書を自在に参照できるようにすること Molecular Cell Biology (4th ed.) Retroviruses Molecular Biology of the Cell (4th ed.) Cancer Medicine (6th ed.)	R. A. ワインバーグ 中村桂子・松原謙一 監訳 http://www.ncbi.nlm.nih.gov/books	南江堂 南江堂	12000円 8000円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験およびレポート（小テスト含む）。レポート又は小テストは毎回の授業の最後に実施し、提出を出席とみなす。出席が2/3に満たなかったものは評価の対象としない。

5. 教員名

腫瘍医学： 池田 裕明
MEDURA： 林 日出喜
病院薬剤部：佐々木 均
臨床腫瘍学：芦澤 和人

フロンティア生命医科学：益谷 美都子
原研内科：今泉 芳孝
島根大学：浦野 健
九州大学：藤田 雅俊

6. 備考（準備学習等）

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

腫瘍系授業予定（2年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	27	水	1	腫瘍概論	がんの生物学概論Ⅰ	腫瘍医学・池田	1講
			2	腫瘍概論	がんの生物学概論Ⅱ	腫瘍医学・池田	1講
10	4	水	1	腫瘍の発生	がん発生の分子生物学	島根大・浦野	1講
			2	腫瘍の発生	がん遺伝子・がん抑制遺伝子	島根大・浦野	1講
10	11	水	1	腫瘍の発生	細胞周期と細胞増殖シグナル	九州大・藤田	1講
			2	腫瘍の発生	DNA修復異常と発がん	九州大・藤田	1講
10	18	水	1	腫瘍の発生	多段階発がん	MEDURA・林	1講
			2	腫瘍の発生	化学発がん	病薬剤・佐々木	1講
10	25	水	1	腫瘍の発生	染色体異常	血液内科・今泉	1講
			2	腫瘍の進展	がんと血管新生	MEDURA・林	1講
11	1	水	1	腫瘍の進展	がんとアポトーシス	フロンティア生命医学・森	1講
			2	腫瘍の進展	転移・浸潤・EMT	腫瘍医学・池田	1講
12	13	水	1	腫瘍の進展	がんと炎症	腫瘍医学・池田	1講
			2	腫瘍の進展	がんと免疫	腫瘍医学・池田	1講
			3	腫瘍の診断／治療	がん免疫療法	腫瘍医学・池田	1講
1	10	水	1	腫瘍の診断／治療	個別化がん治療	腫瘍医学・池田	1講
			2	腫瘍の診断／治療	トランスレーショナル・リサーチ	腫瘍医学・池田	1講
			3	腫瘍の診断／治療	臨床腫瘍学入門	臨床腫瘍学・芦澤	1講

プレリサーチセミナー

責任者	氏 名	柳原 克紀	内 線	7574
	教 室	臨床検査医学（病態解析・診断学）	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日の17:00～18:00		
対象年次・学期		1年～3年：通年	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択		必修 (研究医枠及び熱帯医学研究医枠)	単位数	各1単位
英語名		Pre research seminar		

1. 授業のねらい・目標

基礎医学を担う研究者の育成により卓越した教育及び研究成果を社会に還元することは医学部の使命である。基礎教室配属による少人数教育により基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。

2. 配属教室の選択方法

配属教室は、2年次前期終了後に、科目責任者と相談のうえ、仮配属として決定し、3年次のプレリサーチセミナー及びリサーチセミナーで本配属とする。

また、リサーチセミナーの海外実習については、配属教室と相談のうえ、派遣学生としての応募を可能とする。

3. 配属教室

医学部基礎系、熱帯医学研究所及び原爆後障害医療研究所の各教室

4. 授業内容等

1年次：論文研究（ゼミ形式）と各教室研究内容の紹介セミナー

2年次前期：先導生命科学研究支援センター及び共同利用研究センターにおいて、研究医実習を行う。

2年次後期～3年次：配属教室において、研究テーマ・目標を設定し実験を行う。

5. 成績評価の方法・基準

1年次：出席状況及び課題レポート等により総合判断で評価する。

2年次：出席状況及び課題レポート等により総合判断で評価する。

3年次：配属教室での活動、研究成果に基づき配属先の担当教員が100点満点で評価する。

6. 指導教員など

医学部基礎系教室等の教員

7. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

8. アクティブラーニング

高次のアクティブラーニング。

English for International Medicine

Instructors: Luc Loosveldt/Jim Briganti

Class Time : to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
This course is designed for students interested in careers in international medicine. Focus will be on developing relevant and effective communication techniques, building fluency in spoken and written English, and reinforcing critical thinking skills in English. A range of materials will be introduced to discuss global health issues. Students will be asked to research and introduce their own materials in class to show their understanding.	
Required Textbooks	
A range of materials will be used to introduce global health issues for discussion.	
Topics	
1	First topic - pre-discussion, useful vocabulary and phrases, assignment of group roles
2	Small group discussion of readings - preparation of introductory presentation
3	Short presentations with Q&A
4	In-group review of short presentations + choosing the next topic
5	Small group discussion of readings - preparation of second short presentation
6	Short presentations with Q&A
7	In-group review of short presentations + choosing the next topic
8	Small group discussion of readings - preparation of third short presentation
9	Short presentations with Q&A
10	In-group review of short presentations + choosing the next topic
11	Small group discussion of readings - preparation of fourth short presentation
12	Short presentations with Q&A
13	Choosing the topic for the final presentation, preparing the poster
14	Review of the poster + practice sessions
15	Final poster presentations + evaluations and review of performance
Course work and Evaluation	
Students will be evaluated on the basis of classwork, assignments, group work, group presentation, on-line forum participation, written assignments, and review tests. A detailed breakdown of the evaluation process will be provided in class.	
<i>*The above syllabus is meant as a general guide, not a definite time table.</i>	

医 学 ゼ ミ

責任者	氏 名	柳原 克紀	内 線	7574
	教 室	臨床検査医学（病態解析・診断学）	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日の17:00～18:00		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

2. 授業科目の選択方法

- 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教員、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命科学研究支援センター教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

平成29年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(2年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	開講時間	場所	評価方法	備考
神経形態学 (第一解剖)	森 望	Neuroanatomy of the Mind: 心の神経解剖学	神経解剖学、神経生理学の知識をベースに「認知」「意識」「認識」「感性」「行動」「意欲」等の脳内原理を理解する。その上で、「こころ」がどう生まれ、成長し、円熟するのか、あるいは、ゆらぎ、崩れるのか、自分の頭で考える。脳神経科学、精神医学への橋渡しとする。自らの頭で考え、自らの言葉で語り、自らのスタイルで発表できるようにする。	脳には形があるが、心には形がない。しかし、心は脳内に生まれる。では、脳に心はどう形成されるのか？現代の神経科学、脳科学の知識をベースに、心の形成のナゾへ挑む。	金曜日1校時	視聴覚セミナー室3	出席、発表内容、質疑応答、レポート	
肉眼解剖学 (第二解剖)	弦本 敏行	臨床解剖学への招待	様々な疾患の病態・治療を解剖学的側面から理解することにより、それら疾患への理解を深めること	さまざまな臓器に生じる各種の疾患を提示し、それらの発症メカニズムの肉眼的背景について考察する。ゼミは抄読会形式で進行する。解剖学に関連した臨床分野の英語論文を自ら調べた上で読んで理解し、プレゼンテーションする。さらに、全体で討論する。	金曜日1校時	視聴覚セミナー室1	出席、発表の評価、質疑応答	
神経生理 (第二生理)	篠原 一之	心の個人差の脳科学	英語論文、原著輪読を通して心の個人差の脳科学基盤について理解を深めるとともに、英語読解・プレゼンテーション能力を養う。	近年、性格をはじめとした心の個人差、及び、社会的コミュニケーション能力障害を呈する発達障害と、脳機能・形態、遺伝子多型、内分泌機能との関わりが明らかになりつつある。そこで、これらの個人差・発達障害の生物学的基盤に関する最新の研究論文を読み、その内容に関するプレゼンと議論を行う。これらの活動を通して、心の科学に関する理解を深めるとともに、臨床・研究活動に必須の英語読解・プレゼン能力を身につける。	金曜日1校時	神経機能学教室	レポート、出席、発表内容等を加味して総合的に評価する。	
精神神経科	今村 明	児童思春期の精神医学を考える	精神医学の世界に於いて児童・思春期の精神医学はその社会的な重要性に比して、専門家が不足している領域である。本ゼミでは発達障害を中心にこの分野を中心的に取り上げ、学んでいく。	発達障害を中心に児童・思春期精神医学についての概要を学んでいく。映像作品等での視聴覚的な学習も随時実施する。時間が許せば、課外実習として各種施設などを見学し、実地に学ぶ事も行いたいと考えている。	水曜日の18時以降	精神科外来6	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらった課題の成果 以上を総合的に判断すること。	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
精神神経科	木下 裕久	リエゾン症例から学ぶ臨床精神医学(基礎編)	総合病院の一般病棟で遭遇しやすい(すなわち可能性のある)精神障害の症例を題材として、リエゾン精神医学の基本的な考え方を診断から治療にいたる経過を通して学べるような講義とする。	評価ツールの使い方を入れながら、低学年でも興味を持っていただけるような内容にしたいと考える。	原則として木曜日19時開始	精神科医局	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらった課題の成果 以上を総合的に判断すること。	参加希望者が11名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
小児科	中嶋 有美子	障害か個性か―子どものハンディキャップを知った家族の受容と社会の支援を考える	人と違うことは障がいなのか、個性なのか―家族が直面する葛藤や、乗り越えていくための課題を少しでも理解し、周囲が支援するためには何が必要かを一緒に考えてもらいたい。	我が子に染色体異常があるとわかったとき、育児中に育てにくさを感じたとき、よその子よりも遅れていると思えたとき、途方にくれ、悩み、怒り、苦しむ家族がそれを受容していくことができるのかどうか。子どもが大きくなって社会の中で生きていくためにはどのような道筋があるか。毎回テーマを決めて考察を加える。	木曜日17時～18時	10階小児科医局カンファランス室	最後のまとめ	
臨床感染症学・感染制御教育センター	泉川 公一	感染症に強くなる！！	致死率の高い種々の感染症や薬剤耐性微生物の脅威に対して人類はどのように対応しているかを学ぶ。生き物vs生き物の独特な医療においてヒトが勝るになれるか？学生との双方向に意見交換を行う	日本のみならず世界各地で発生している様々な感染症について、その診断、治療ならびに先端的な研究について学び、ヒトが微生物をどのように攻略していくのかそのプロセスを学び、臨床と基礎のbridgingとは何かを習得する。	月曜日5校時	長崎大学病院	出席状況、発表、授業態度などの総合評価	
地域医療学	前田 隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・欧文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。	地域医療研究会(未定・2か月に1回開催予定) 長崎地域医療セミナー in GOTO 月20日(日)～8月22日(火)	地域医療研究会(坂本キャンパス) 長崎地域医療セミナー in GOTO (長崎県五島市)	出席・発表・レポート	地域医療研究会および長崎地域医療セミナー in GOTOの両方への参加が必須です。地域枠入学生を主な対象としますが、地域医療に関心のある地域枠でない学生さんの受講も可です。 ※地域医療セミナー期間中の食費については5000円/人を予定しています。
地域包括ケア教育センター	永田康浩	医師になるってどんなこと？ー包括医療事始めー	医師として患者治療の意義を知り、これに関わる医療資源と社会資源について認識させる。	最先端医療のゴールは患者さんの社会復帰である。疾病を患った患者さんが、医療機関で治療を受け、社会に復帰するまでに、どれだけの医療資源、社会資源を要するかを認識し、理解する。これに関わる、基礎医学、臨床医学、社会医学について考察する。診療の基本手技を学びながら、在宅医療の現場を体験する。	金曜日1校時	地域包括ケア教育センター(医学部基礎棟5階)	出席態度およびレポート内容	
地域包括ケア教育センター	松坂 雄亮	精神科医と学ぶ総合診療への道	人体の基礎知識と疾患の成り立ちを中心に網羅的に復習し、症例を題材とした学習を通して診断から治療への流れを感じ、そして身に着ける。精神科医というある種の「その道のプロではない者」とともに行うことで、これからの臨床実習・初期研修で習得すべきエッセンスを見出す機会とする。	1回の授業で1つの症例をテーマにする。ロールプレイ形式で医療面接の練習を行い、症例に関する基礎医学的、病理学的な知識を復習する。また、診断に至る過程と基本的な治療法も学び、1つの疾患を時系列的なストーリーとして把握することで、実臨床に近い形で知識を習得する。毎回異なる臓器の異なる病態について学び、ゼミ全体として総合診療的な能力を身に着ける。	金曜日17:00-18:00	精神科医局	ゼミへの積極的な参加姿勢や取り組み状況を総合的に評価する	
分子生理学	蒔田直昌、辻幸臣、石川泰輔	心臓の生理学	内臓機能体液系で扱った心臓生理学の内容をさらに深め、関連する疾患や病態についても学び、心臓生理学と不整脈の病態機序について追求する。	生理学・循環器病学の成書や、英語論文をもとにしてプレゼンテーションを行ってもらい、教員が補足を行う。	金曜日1校時	基礎棟3階大学院実験研究室	出席、積極性、発表内容等を総合的に評価する。	
原研国際	高村 昇	国際保健入門(2)	一年時に引き続き、推薦入学国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、国際保健に関する成書の輪読会を行い、あわせて国際保健に関する概説を行う。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	「Textbook of International Health」をはじめとする国際保健関連の英文資料を輪読することで国際保健、国際医療の実状についてより深い理解を得る。	月曜日5校時	原研棟3階コミュニケーションセンター	出席状況、ゼミにおける発表内容等を考慮して評価する。	
フロンティア生命科学	益谷 美都子	分子情報を基盤とするがんの低分子創薬、新規治療開発の研究手法	がんの低分子創薬、新規治療開発について、研究デザイン、研究結果を評価・討論することを学ぶ。	がんの低分子創薬や新規治療開発、ゲノム医療に必要なliquid biopsyの導入に関する論文紹介、webセミナーの聴講や、討論を行う。	水曜5校時	フロンティア生命科学分野(歯学部C棟6階)	出席状況、発表などの総合評価	
へき地病院再生支援・教育機関	調瀬、中桶了太	離島・へき地医療の達人から学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、これ	・離島・へき地の第一線で活躍する多職種によるを双方向性の講義を中心とする。 ・地域医療に密接に関係する家庭医や、病院総合医、プライドクターとして活躍する医師のほか行政や地域のメディカルスタッフによる講義を予定している。 ・「地域医療」という漠然としたイメージをリアルな物として認識できるようになること。 ・地域枠学生に限らず、幅広い学生の参加を歓迎する。	18:00-19:30	医学部基礎棟1階 視聴覚教室	出席・レポート・発表で評価を行います	全学生を対象としています。地域枠のみならず地域枠以外の学生で地域医療や総合診療に関心のある方の参加を歓迎いたします。
病理診断科	福岡/新野	形態から見る「癌って？」	形態を見て癌に起こっている生物学を考えるブレインストーム	がん細胞は本当にモノクローナルなのか？癌が惹き起こす周囲の環境の変化はどう考えるのか？なぜ癌はCR1にならないのか？ などについて、病理学的にアプローチし、ディスカッションを行う		病理診断科医局(歯学部C棟)	ディスカッションの能力と理解度	
病理診断科	古里	組織標本で見る「癌って？」	組織を見て癌に起こっている生物学を考えるブレインストーム	浸潤とは何か？癌が惹き起こす周囲の環境の変化って組織でみえるの？などについて、病理学的にアプローチし、ディスカッション・研究を行う。継続研究で3年のリサーチセミナーまで続けられる方を募集します。		病理診断科医局(歯学部C棟)	能力と成果	継続研究で3年のリサーチセミナーも続けられる方を募集します。

English Foundation Skills for Second Year Medical Students

Instructors: Luc Loosveldt
Jim Briganti

Class Time : to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
This is a continuation of the previous year's English for Medical Students. The course will build on the foundation laid in the previous course, but with a focus on developing oral skills. Group and pair presentations, discussion, debate practice, and professional email writing protocol will be some of the activities students will be required to actively participate in to successfully complete the course	
Required Textbooks	
Readings to be assigned in class.	
Topics	
1	Introduction and overview of the course, introduction to the Pecha-Kucha (PK) presentation
2	Introducing and discussion of topics for first group presentation/discussion+ building your Pecha-Kucha (PK); introduction of the rubric
3	Discussion and listening practice; email writing protocol
4	Reviewing the PK scripts; PK practice; using the rubric to review PK performance
5	First PK sessions
6	More email writing tips; reviewing PK sessions
7	First poster session practice + script review
8	First poster session
9	Topics for second group presentation; preparing spoken summaries; more email writing tips
10	Introducing the presentation topics for peer evaluation
11	Reviewing the PK scripts; body language and intonation to convey meaning
12	Second PK sessions
13	discussion and review of second script + introduction on how to make a poster
14	Second poster session practice + script review
15	Final Poster Sessions + evaluations
Course work and Evaluation	
Students will be evaluated on the basis of classwork, assignments, vocabulary quizzes, group project, written work. A detailed breakdown of the evaluation process will be provided in class.	
*The above syllabus is meant as a general guide,, not a definite time table.	